

白鶴美術館 2023年春季展開催

2023年3月4日（土）から6月4日（日）まで

中国銅鏡を一挙大公開！

公益財団法人白鶴美術館（神戸市、1934年開館）では、3月4日（土）から2023年春季展覧会を開催します。当館は、多彩な日本・東洋美術（本館）、そして中東絨毯（新館）の所蔵館として世界的に知られています。今回は、本館にて「中国の銅鏡」というテーマで展覧会を催し、白鶴美術館が誇る中国銅鏡の多くを一挙大公開します（作品数：63点）。螺鈿（らでん）や平脱（へいだつ）、銀貼り（ぎんぱり）といった各種の技法が発揮されている鏡をご紹介します。また同時に、新館にて「近代ペルシアのメダリオン絨毯」と題した展覧会を催し、ペルシア絨毯を象徴するメダリオン文様をあしらった絨毯の数々をご紹介します（作品数21点）。

会期中には、講演会やワークショップなど、来館者が自由に参加できる各種イベントも開催します。

開催概要

展覧会名： 本館「中国の銅鏡」、新館「近代ペルシアのメダリオン絨毯」

■期間 2023年3月4日（土）～6月4日（日）

■休館日 毎週月曜日

■開館時間 午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

■入館料 大人：800円 大学・高校生：500円 中・小学生：250円
（65歳以上は500円／上記各団体20名以上は2割引）

主な展示品



らでんえんおうほうそう げもんはちりょうきょう
螺鈿鴛鴦宝相華文八稜鏡

中国・唐時代

キラキラと輝く貝によって、鳥などの文様を表す華やかな鏡。



ぎんぱりと きんちようじゅうか ぶんはちりょうきょう
銀貼鍍金鳥獸華文八稜鏡

中国・唐時代

銀を打ち出して表した立体的な文様が見もの。



タフリッシュ ペルシア西部

20世紀中期

力強い大型のメダリオンを中央にあしらう。当館コレクションを代表するメダリオン絨毯。

【白鶴美術館とは】

「世界的価値のあるコレクションを私蔵するのではなく、ひとりでも多くの方の目に触れてほしい。」

白鶴美術館は、そんな願いを持った嘉納治兵衛（鶴翁・白鶴酒造7代）によって昭和9年（1934年）に開館されました。古美術品500点で出発した当館は現在、国宝2件（75点）、重要文化財22件（39点）を含む約1450点以上の作品を所蔵。戦争と空襲、大震災など幾多の苦難を乗り越えて、価値ある古美術品を現在に残しています。



1934年開館の美術館本館

展覧会に伴うイベント情報

講演会「中国青銅鏡の鑑賞—歴代の造形をたどる—」

日時：5月7日（日） 午後2時～3時30分

講師：橋詰 文之 氏（和泉市久保惣記念美術館 副館長）

演奏・レクチャー「イラン音楽の愉しみ方—「廻（めぐ）り」の理論から—」

日時：5月21日（日） 午後2時～3時

講師：谷 正人 氏（神戸大学国際人間科学部 准教授）

文化財特別講座「修理現場からのメッセージ—絵画の修理を中心に—」

日時：6月4日（日） 午後2時～3時30分

講師：岡 岩太郎 氏（（株）岡墨光堂 代表取締役）

大学生ワークショップ「クルっと反転！ 紙が要のミニ屏風」

日時：4月29日（土・祝）・30日（日）、5月3日（水・祝）・4日（木・祝）・5日（金・祝）
午後1時30～3時30分

指導員：甲南大学学生ワークショップ指導員

アート・トーク「鏡の中の鳥獣」

日時：6月3日（土） 午後2時～3時

講師：当館学芸員

スライド解説「展示品のみどころ」

日時：3月18日、4月15日、5月20日の各第3土曜日 午後2時～3時

講師：当館学芸員

▼展覧会詳細（HPをリニューアルしました）

<https://www.hakutsuru-museum.org/>



アクセス

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1

- ・阪急御影駅から北東約1km（徒歩約15分）
- ・無料駐車場あり（大型バスも可）
- ・阪神御影駅、JR住吉駅から市バス38系統渦森台行「白鶴美術館前」

展覧会の取材等のお問い合わせは下記までお願いします。

白鶴美術館 学芸課

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1 Tel/Fax: 078-851-6001